

## DHLが英国で二部門売却 国際宅配への注力姿勢を鮮明に

■ロイター 1・5など

ドイツポストDHLは、英国でフォワーディング部門と国内宅配部門の一部を売却した。同社は今後、英国では国際宅配部門に注力していく考え。一月一日、フォワーディング部門であるDHLフレイトが所有していたDHLコンテナ・ロジスティクスを、英東部サフォークに本社を置くマリンタイム・トランスポートに売却した。

DHLエクスプレス傘下にあった英国国内宅配部門の一部の売却先は、リバプール近郊に本社を置くホーム・デリバリー・ネットワーク。同部門の従業員は四七〇〇人で英国内に五カ所のハブセンターなどを持っていた。

なお、いずれも売却金額は非公表。

## UPS 上方修正するもリストラに着手

■同社プレスリリース 1・8

UPSは、四月から米国内宅配事業のリストラを実施する。組織体制の合理化と管理職を対象とした人員削減を行う。宅配の拠点やドライバーはリストラの対象外。

まず、これまで米国内で五つとし

ていた地域区分を三つに統合。四六に区分していた地区も二〇にまとめる。それに伴い、管理職の一八〇〇の役職を減らし、うち一〇〇〇人は早期退職プログラムの対象とする。

同社は二〇〇九年第4四半期業績予想を修正し、潜在株式調整後一株当たりの利益予想を〇・五八ドル（〇・六五ドル）（五二・七八〜五九・一五円）から〇・七三〜〇・七五ドルに引き上げた。国内部門と国際部門の業績が予想を上回り、コスト削減も奏功したとしている。今年についても景気の回復傾向が徐々に鮮明になるとの見通しを示しているが、より一層の経費削減を図るといふ。

## 米ライダー・システム 南部で牛乳輸送を受注

■同社プレスリリース 1・11

ライダー・システムの貸切輸送部門は、米国フロリダ州内の牛乳生協であるサウスイースト・ミルクと輸送受託契約を結んだ。

サウスイースト・ミルクは、米南部における牛乳生産の大手で年間三〇〇万ポンド（一三五万キロ）を生産する。ライダーは州中央部プラントシティの工場から、フロリダ州とジョージア州の全域への配送を請け負う。専属ドライバー三二人を派遣し、車両の管理や整備も行う。

## 仏ノルベール・ダントルサンゲル 英高速道路庁から物流業務受注

■同社プレスリリース 1・11

フランスの3PL企業であるノルベール・ダントルサンゲルは、英国運輸省に属し、高速道路の補修やネットワークの維持・改善を担当する高速道路庁から、補修部品の保管・輸送業務を受注した。

ノルベール・ダントルサンゲルは英中部テルフォードの物流センターを使用し、道路脇に設置する電話やテレビカメラからボルト、ナットまで、一五〇〇SKU（在庫保管単位）の補修用部品を保管・管理する。パレット用のラックに加え、小型部品を扱う間仕切りなどを用意した。物流センターの床荷重は重量物の保管にも対応している。

部品の輸送ではリードタイムと輸送コストから、同社の専用便と協力物流業者を使い分けていく考え。

## キューネ十ナゲル 欧州と南米で3PL業務受注

■同社プレスリリース 1・11など

キューネ十ナゲルは、イタリアに本社を置く大手トラックメーカー、イベコ（Iveco）と補修部品のロジスティクス業務の受託契約を三年間延長

した。またスイスの医薬品大手、ロツシュのチリ現地法人から、チリ国内におけるロジスティクス業務を新規に受注した。

イベコからは、イタリアやフランスなど欧州に五カ所ある補修部品センターでのロジスティクス業務と欧州全域への輸送を請け負っている。五つのセンターの延べ床面積は合計三〇万平方メートル。各センターに八万〜一六万SKU（在庫保管単位）を保管している。センターからの総輸送量は、年間六万トンを超える見通し。

ロツシュ向けではチリ中央部・サンチャゴの二〇〇〇平方メートルの物流センターでの業務に加え、病院や薬局などへの配送業務を行う。

## DBシエンカー イタリアの通運業者を買収

■同社プレスリリース 1・13

ドイツ鉄道のロジスティクス部門であるDBシエンカーは、イタリアの通運業者、ノードカーゴ（NORD Cargo）の株式十一%を取得した。DBシエンカーのイタリア現地法人が昨年、ノードカーゴの株式四九%を取得していたため、今回の買収でグループでの株式保有比率は六〇%となった。

DBシエンカーの鉄道輸送部門に



とって、イタリアは最も重要な市場の一つ。二〇〇八年度はイタリア発着の貨物が売上高の四分の一を占めた。ノードカーゴは〇一年に営業を開始した新興通運業者。〇三年には親会社から独立している。〇八年の売上高は約四〇〇〇万ユーロ（五〇億八〇〇〇万円）。約二〇〇人の従業員を抱えている。

### エアロ・ロジックが路線網拡大 ボーイング777Fを二機導入

■DHLプレスリリース 1・14

ドイツポストDHLとルフトハンザ・カーゴの合弁貨物航空会社、エアロ・ロジックは、ボーイング社の大型貨物機、B777型フレイター（B777F）二機を導入し、大西洋線とアジア線のネットワークを拡大した。B777Fは平日はドイツ東部ライプチヒ〜香港線、週末はフランクフルトからアトランタ、シカゴへの直行便に投入した。世界景気が低迷している中でも欧州〜アジア間、欧州〜米州間の輸送需要は安定しているという。

さらにエアロ・ロジックは、今年中にB777F四機を追加導入し、会社設立当初に計画していたネットワークを来年初めに完成させる予定。同社はDHLエクスプレスとルフトハンザ・カーゴが二〇〇八年一月、

折半出資で設立した。

### フェデックスが上海直行便を開設 初のボーイング777Fが就航

■同社プレスリリース 1・14

フェデラル・エクスプレスは一月四日、同社初のボーイング777Fを就航させ、メンフィスの「スーパーハブ」〜上海直行便を開設した。これにより、上海のほか近隣の蘇州、昆山への輸送時間を二時間短縮した。

同社にとって中国本土はアジアでの成長のエンジンという。加えて上海発米国向けの国際宅配便が増加しているため、大量輸送が可能なB777Fの導入を決めた。

### 米コンウェイ LTL貨物の輸送時間を短縮

■同社プレスリリース 1・19

米国のトラック輸送大手、コンウェイ傘下のLTL（Less Than Truckload・日本の特別積み合わせ貨物輸送に相当）業者であるコンウェイフレイトは、米国内の四六〇カ所の地点への輸送時間を一日短縮すると同時に、CO<sub>2</sub>排出量を削減する。輸送ルートの見直しや積み替え作業時間の短縮を実施。さらにこれまで例外的に対応してきたサービスメニューを簡素化する。

輸送時間を短縮するのは、主に南テキサス〜北西部間、シカゴ〜南フロリダ間、シカゴ〜南テキサス間。輸送距離を年間一六六〇万マイル（二五六万キロ）減らす。

コンウェイフレイトの試算では、燃料消費量を二六〇万ガロン（九八八万リットル）、CO<sub>2</sub>排出量を五八六〇万ポンド（二六三七キロ）削減可能という。これは米国内の高速道路で五二〇〇台分の自動車交通を削減するのに相当する、としている。

### TNT

#### 郵便関連の二事業部門を売却

■同社プレスリリース 1・20など

TNTは、TNTポストのドイツ法人傘下で投げ込み宅配を行うTNTディレクトワールバンク（Direktwbank）とチエコでコールセンター業務を行うドミコール（DomiCall）を売却した。TNTは昨年末、オランダ以外での郵便事業の見直しを打ち出しており、二社の売却はその一環。

TNTディレクトワールバンクは、経営陣がMBO（経営陣による買収）を行った。同社はベルリンやハンブルクなどドイツ国内に八カ所の拠点を持ち、三〇〇人の従業員を抱えていた。ドミコールはTNTの郵便部門の一部。プラハに本社を置き、自動車

産業や保険産業の顧客からコールセンター業務を請け負っていたが、チエコの同業他社に売却する。

### ドイツ連邦社会裁判所 郵便事業の最低賃金は違法

■ライター 1・28など

ドイツのライプチヒにある連邦社会裁判所は、ドイツ国内の郵便事業における法定最低賃金は違法であるという判決を下した。下級裁判所では既に同様の判決が三つ出しており、今回の判決はそれらを踏襲したもの。

ドイツでは二〇〇八年、国内の郵便事業の従業員を対象に一時間当たり九・八ユーロ（二二四・六円）の最低賃金が導入された。これに対してドイツの郵便事業の賃金を一時間当たり七・六ユーロとしていたTNTやPINなどの郵便事業者が、公平な競争を妨げるものだとして訴えを起こしていた。

連邦社会裁判所は、政府が事前にTNTなどの事業者と十分に話し合うことなく最低賃金を法制化したことは違法、と判断。TNTは「この不公平な法令がようやく廃止されることを歓迎する」との声明を発表した。ただしドイツでの郵便事業の今後の方向性は、〇九年通期の決算を発表する二月下旬までに決定するとしている。



換算レート：1ドル=91円、1ユーロ=127円、1ポンド=145円